

【5】地域福祉活動計画の概要

住みなれた地域で、これからも安心して暮らしたい！

これは誰もが願っていることです。

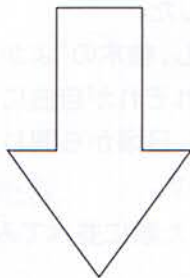


いま、地域では・・・

高齢者の見守り、子どもの安全、ごみ問題、町内会活動・・・など行政のサービスだけでは解決することが難しい、さまざまな問題があります。

むかしは・・・

「向こう三軒両隣」という近所の助け合いのなかで解決できていたかもしれません。



どうすれば解決できる？



「地域の中で問題になっていること・困っていること」などを、『**地域みんなの問題**』と考え、その解決について『**地域みんな考え、取り組む**』ことが必要です。



地域福祉の
考え方

- ◎この地域福祉の考え方を進めていくきっかけとして、「地域福祉“お茶の間トーク”」を行い、皆さんの住んでいる地域のことについて話し合いました。

P7～P8に掲載しています。

- ◎話し合った内容をもとに、さらに住みよい「柚木」のまちをつくるために作成したのが、この柚木地区地域福祉活動計画

「よかまち よかところ よかゆのき ～ゆう大で、美しい自然を子や孫にのこしていつまでも きれいな柚木でありたい～」です。

これからも、みんなで協力して、安心して暮らせる地域をつくりましょう！

※この活動計画は、市内31区でそれぞれ作成され、それをもとに、市全体の「地域福祉計画」が策定されます。

【6】 柚木地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

◆ “お茶の間トーク”ってなに？ ◆

柚木に住んでいる人や働いている人が集まり、これからさらに住みやすい柚木のまちをつくるために、いろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

柚木のまちを見つめなおし、自分たちにできることなどを話し合いながら参加者同士の交流にもつながりました。



◆ どのようなことをしたの？ ◆

“お茶の間トーク”は、誰もが対等な立場で自由に意見を出し合える「ワークショップ」という方法を用いて、3回にわたって行いました。

(第1回)

期 日：平成18年1月29日（日）

テーマ：みんなの地域を知ろう！

内 容： まずは、柚木にちなんだグループ対抗のクイズや、施設や学校などの場所を地図の中から探すマップづくりを行い、参加者の交流を深めました。

その後、地域のことを見つめなおし、柚木の“よかところ”と“こまりごと”を、参加者それぞれが自由に出し合いました。同じ地域の人だけに、日頃から同じ思いをもっている人も多かったようです。

参加者から出された意見を多かった順に並べてみました。



■よかところ

1位	美しい自然
2位	人が優しい、ふれあいがある
3位	便利なところ（施設、道路など）
4位	食べ物がおいしい
5位	名所、旧跡がある

■こまりごと

1位	動物（イノシシ等）による被害
2位	生活（ゴミの不法投棄、店が少ないなど）
3位	交通問題（交通の便が悪いなど）
4位	防犯（通学路が心配など）
5位	自然環境（積雪による被害など）

皆さんも柚木地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましょう！

Q 1. 柚木地区公民館の延べ床面積はどれくらいあるでしょうか？

① 799㎡ ② 1,165㎡ ③ 1,327㎡

Q 2. 西光寺の参道にある灯籠の数は、全部でいくつあるでしょうか？

① 48コ ② 63コ ③ 87コ

Q 3. 川谷ダムの貯水量はどれくらいあるでしょうか？

① 161万トン ② 214万トン ③ 138万トン



※解答は8ページ下に記載してあります。

(第2回)

期 日：平成18年2月19日(日)

テーマ：みんなにできることを考えよう！

内 容：まずは、日常生活での「助け合い・支え合い」をイメージするためのゲームを行い、楽しみながら「助けること・助けられること」を体験しました。

その後は、第1回で出し合った柚木の“こまりごと”について、それを解決するために「地域のみんなににできることはないか？」を考え、面白いものから現実的なものまで、たくさんのアイデアが出されました。



(第3回)

期 日：平成18年3月11日(土)

テーマ：これからの地域を考えよう！

内 容：第2回で考えた“アイデア”について「どれくらい効き目があるか」を考えました。そして特に「効き目」が高いと思われるアイデアについては、地域で実行していく流れをイメージしてみました。

最後に、「ゆ・の・き」を頭文字にした作文をつくりました。
“落語家” 顔負けの名文の中からいくつかを紹介します。



（ ゆ っくり行こう柚木道
の びのび遊ぶ
き れいな笑顔の子どもたち

（ ゆ 一もあと
の どかな町です
き れいな柚木

◆ 3回をふりかえって・・・ ◆

毎回たくさんの方の参加で盛り上がり、地域のみんなで話し合ういい機会になったのではないのでしょうか。アンケートの結果から、参加者の声を一部紹介します。

- ・ 柚木のことを考えている方がたくさんいて、うれしく思いました。
- ・ いろいろな人と知り合いになれ、様々な情報を得ることができてよかった。
- ・ 地域の課題を再確認でき、解決につながるアイデアがたくさんあった。
- ・ 楽しく、充実した話し合いができてよかった。
- ・ 意外と皆様の活発な意見があり、知らないこともわかり楽しかったです。今後どこまで発展するのか・・・と思います。 … など

そして、中にはこのような意見がありました。

これからは、それぞれのできることを、少しでも多く積極的にやっっていこうと思います。

まさにそのとおりです。

みんなで出し合ったアイデアを、これからの活動につなげていくことが大切です。まずは、地域のために手を取り合い、“みんなにできること”から始めてみましょう！

そこで、“お茶の間トーク”で出されたことを次のページにまとめてみました。

お茶の間クイズ回答 A1.② A2.③ A3.①